

カナディアンブラス マスタークラス

1/27(月)18:30

シルバーマウンテン S100 室

世界を代表する金管アンサンブルでありパフォーマーのカナディアンブラスを講師に迎えてのマスタークラスを開催いたしました。

最初にカナディアンブラスは

「Just a Closer Walk」を演奏しながら入場し、メンバー紹介をしました。

今年のツアーから若いトランペット奏者ブランドンを迎え、

トランペット:

ケイレブ・ハドソン

ブランドン・ライデナワー

ホルン:

ジェフ・ネルセン

トロンボーン:

アキレス・リアルマコプーロス

テューバ:

チャック・デーレンバック

の5名での来日でした。



レッスン1

学部1年生による金管6重奏

「ポーギーとベス」より/G.ガーシュイン

彼らの演奏のクオリティの高さをカナディアンブラスは絶賛していました。

より表現力を上げるために各ソロをスタンドプレーで演奏する様に、またこの曲の特徴から、更に自由に、楽譜に忠実でなくて良いのでよりエモーションを出すようにアドバイスを受けました。

時にはカナディアンメンバーがソロを代わり、学生たちの演奏は少しの時間でさらに魅力的になりました。



レッスン 2

学部 4 年生による金管 5 重奏

金管 5 重奏曲/M・アーノルド

イギリスの作曲家マルコム・アーノルドの金管 5 重奏曲は金管アンサンブルを学ぶ者にとって必須と言える曲ですが、

このような楽曲の捉え方、表現、またアンサンブルとしてのコンタクトの取り方やサウンド、様々な角度からのアドバイスを受け、より精度が高く表現力のある演奏になっていきました。

最後にメンバーによるパフォーマンスで、バロック音楽から定番の「ペニーレイン」まで数曲、素晴らしい演奏を聴かせて、魅せて頂きました。

聞いている学生たちの目の輝きと笑顔もとても印象的でした。

最後に、マスタークラス終了後、メンバーから、今日の出演学生はたいへんクオリティが高く、将来が楽しみだ、という言葉を受けたことを記しておきたいと思います。

古田賢司

